

緊急声明に関するご報告

会員の皆さま

平素より日本看護倫理学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学会は2024年8月8日に「新型コロナウイルス感染症予防接種に導入されるレプリコンワクチンへの懸念 自分と周りの人々のために」という緊急声明を公表いたしました。

この声明は、次世代型 mRNA ワクチンに対して、倫理的観点から国民が自律的に判断できるよう、リスクを含む十分な情報提供を求めるとともに、看護職を含む医療従事者への接種勧奨や同調圧力を防ぐことを目的としております。

声明発表後、会員および非会員の方々からさまざまなご意見を頂戴しております。誠にありがとうございます。皆さまからのご意見等はすべて理事会で共有し、真摯に受け止めております。しかし、その中には、事務局や理事会メンバーを名指しして危害を加える内容も含まれており、安全確保の措置を講じているところです。また、一部において本学会の意図と異なる形で声明の内容が改変され、広められている事例が確認されております。さらに、9月27日にはMeiji Seika ファルマ株式会社より要請書が送付されており、国民の命と健康を守る同じ立場として、建設的な対話を通じた対応策を理事会で審議中です。

会員の皆さまには、理事会からの緊急声明に関する報告のタイミングや、学会の意図とは異なる文書の流布等により、ご心配やご不安な思いをおかけしてしまい、誠に申し訳ございません。

引き続き、学会として状況に応じた適切な対応に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年10月7日
一般社団法人 日本看護倫理学会